

# ピアネット monthly June. 2017

## ピアネット・マンスリーの発行について

ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット事務局》

### 【課外教養プログラム（学生センター）】

#### 「KYOPRO × VSP 合同 献血 × 謎～謎解きは献血の間に～」を実施しました

6月6日（火）、市ヶ谷キャンパスにて東京都赤十字献血センターの山内美江氏を講師としてお迎えし、課外教養プログラムプロジェクト（KYOPRO）スタッフとボランティアセンター学生スタッフ（VSP）が協力して、「献血 × 謎～謎解きは献血の間に～」を実施しました。このプログラムでは、近年若年層の献血への参加意識が特に薄れつつあることを踏まえ、献血に関する講義や献血を実際に体験してもらうことで、献血に意識を向けてもらうことを目的としました。

プログラムの前半は大学にて講義、後半は新宿にある献血ルームへ移動し、実際に献血を行いました。

講義では、献血のPRビデオを鑑賞した後、「血液は本当に患者の元へ届けられるのか」「針から何かに感染することはないのか」など献血の実情についてお答えいただき、学生が感じていた疑問や不安を解消することができ、献血に対する抵抗感を無くすことができました。

講義が終了した後、大学を離れ新宿東口献血ルームへと移動し、献血を実際に体験しました。

参加者には献血を体験したことのない学生が多く、献血ルームの様子に新鮮な反応を示していました。

献血までの待ち時間には、東京大学の謎解きサークル「AnotherVision」の作成したクイズに参加者全員で臨みました。

ヒントをもらうことでやっと解けるほど難易度の高い謎解きはやりがいがあり、参加者が交流する良い機会となりました。

このプログラムを経て、献血について正しい知識と経験を得ることができたようです。参加者には再度献血に参加してもらい、さらに周囲の方へも広めてもらいたいです。



大学にて講師による講義



新宿の献血ルームにて実際に献血



集合写真

### 【ボランティアセンター】

#### 「チーム・オレンジ企画 避難所体験～ Save Yourself ～」を実施しました

ボランティアセンター学生スタッフチーム・オレンジが、6月25日（日）に避難所体験を市ヶ谷キャンパスで実施し、34名の学生が参加しました。首都直下地震が高確率で発生するとされていて、いつ起きてもおかしくない状態です。

ボランティアセンター学生スタッフチーム・オレンジでは東北ボランティアツアーや東北スタディツアーなどの被災地に赴く企画を実施していますが、防災に関する知識も本学学生に学んで欲しいと思い本企画を実施しました。

この企画では、防災クイズ・クロスロード、非常食試食、避難所運営ゲームを行いました。防災クイズ・クロスロードでは、個人で考えるのではなく班で意見を共有しながら答えを考えてもらい、楽しみながら防災知識を身につけました。

非常食試食では、水を入れるだけで作ることができるアルファ米や缶入りパンを実際に試食することで備蓄を促す目的で行いました。

避難所運営ゲームでは、避難所の運営側の立場になり、様々な被災者をどこに配置するかなどのことを班で話し合い、運営の難しさを感じてもらいました。最後には各班でどのように配置したのかを共有しました。

全ての企画において、座学形式ではなく体験型のプログラムであったため、積極的に学ぶことができ、避難所運営の難しさや、避難所運営のノウハウを身につけることができたようです。



避難所運営ゲームで避難者の配置を検討



アルファ米や缶入りパンなどの非常食を試食



防災クイズで回答する学生たち

## 【オープンキャンパススタッフ】

各キャンパスで実施するオープンキャンパス（市ヶ谷：8/6、8/20、8/21、多摩：8/5、8/26、小金井：8/5、8/26）に向けて、5月から学生スタッフが企画・運営の準備を進めています。受験生・高校生に、法政大学のさまざまな魅力を伝えるため、準備に余念がありません！



法政大学の魅力を伝えるために、準備に余念がありません

## 【FD 推進センター】

### 2017 年度オープンキャンパス（市ヶ谷）学生FDスタッフによるトークショー実施

2017 年度市ヶ谷キャンパスで開催されるオープンキャンパスでは、学生FDスタッフ企画として、「法政大学でのまなびについて～大学の授業と高校の授業とこんなに違います～」をテーマとしたトークショーを実施します。

昨年度大好評だった企画をブラッシュアップし、5月から検討・練習を行っています。興味のある方ぜひお立ち寄りください。



## 【学習ステーション】

### 「七タフェスタ」を実施しました



七タフェスタを7/3～7/7（7/4を除く）の期間限定で昼休みに実施し、75名の参加がありました。

短冊や射的、ヨーヨー釣り、型抜き、といった七タらしい企画を提供しながら、学習ステーションの活動およびピアネット活動の宣伝を行いました。

参加学生からは「七タフェスタを通じて学習ステーションの存在を知ることができた。普段のプログラムにも興味を持った。」「賑やかで楽しく、すべての日にちに参加しました。」など多くの感想が寄せられました。



## 【編集後記】

“継続は力なり”という言葉があります。意味は「物事を成し遂げるまで諦めずに取り組み続けていけば、いずれ大成できる」になります。みなさんは何か継続されていることはありますか？

私が尊敬している一人に、39歳でいまだにラグビー日本代表で活躍し続けている選手がいます。

「灰になっても、まだ燃える（燃え尽きて、まだ燃える）」をモットーとしており、肩を亜脱臼しながらもプレーをし続けたという有名な話もあります。大学からラグビーを始め、グラウンド内外で自分磨きを継続された結果、2004年から2017年7月現在も日本代表で活躍し続けられています。2019年のワールドカップ出場（日本開催）を目標にしているようです。

まさに“継続は力なり”を体現されています。また、彼に限らずとも何か一つのことを取り組み続けている人（ベテラン選手、職人、等々）は周りの人を惹きつける何かを纏い、魅力的に映ります。

私も今もなお続けているラグビー（趣味）を通じて、魅力的な人間になりたいと思うこの頃です。

ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。《事務局：堀越》